

## Q 小学校教室増設計画は

## A 財政計画を調整し実施



▲滝沢小多目的ホールを間仕切りして教室に利用

### Q1

政治と金の問題が次々に噴出し、一連の不祥事に関して、多くの国民がマスコミを通じて、怒りの声をあらわにしております。わが村も全職員が一丸となり、村政執行に取り組むことが責務と考えます。また、村・職員・自治会の連携が深まれば、近年進めている「住民協

働」が定着していくものと考えます。

さて、14年3月に「村義務教育施設整備計画」が示されました。

滝沢小学校においては、現在2階多目的ホールが普通教室2クラスとして使用されており、本来「多目的」に使用されるものが一時的とは言え、目的外に使用されているので、早急な手当てが必要と考える。滝沢小学校の生徒数の推移動向を勘案し単なる増築ということではなく、プレハブ教室の増設も考えられるが、計画はどうか。

各学校から、補修等の要望があると聞いているが、対応は。

**A1** 各小学校学区の児童・生徒の増加や少人数学級の導入拡大に伴う増築については、必要に応じ対応します。

プレハブ教室の増設につきましては、全体的な学校の施設整備のあり方の検討の中で考えてまいります。

山 谷 仁 議員(新志会)



特別教室に関しては、児童数の増加に伴い、14年に篠木小・特別教室1室、滝沢小・特別教室1室と多目的スペース1カ所を普通教室に転用しましたが、その後両校とも生徒数が減少し、篠木小学校では英語教室に、滝沢小学校では多目的教室に使用しております。

いずれにしても、篠木小学校、滝沢小学校とも、今後住宅団地造成後の人口流入等も考慮し、生徒の学び舎としての環境に配慮しながら推移を注視し、総合計画や村の財政計画との調整により、今後順次計画を作成し対応してまいりますと考えます。

また、学校等から要望等を出している補修案件につきましては、順次計画的に整備していきたいと考えています。

## Q キャリア教育の実情は

## A 多様な体験活動を実施



佐藤 澄子 議員  
(春緑クラブ)

**Q1** 小・中学校におけるキャリア教育に関するここ五年間の実施データに伴う現在の問題点は。

**A1** 小学校の場合、キャリア教育に関連のある教育活動としては生活科、家庭科、社会科、道徳の授業のほか学級活動や総合的な学習の時間、児童会活動、学校行事を通じた学習があり、すべての小学校において教育課程に位置づけ適切に実施しています。

今後の課題としてはキャリア教育という新たな枠組みで教育活動をとらえ直し児童の勤労観、職業観をはぐくむ教育活動が急務であると考え、指導しているところでは。

中学校の場合は小学校のキャリア教育に関連する学習を受けて発達段階に応じた学習の他、進路指導として望ましい勤労観、職業観の形成、主体的な進路



▲献立作成に盛り上がる、鶺鴒小の子どもたち

**Q2** 各中学校の昨年度の進路決定における生徒の勤労観、職業観の意識の傾向とそこから見られる課題は。

選択と将来設計などの活動を行っています。また、職場体験学習など体験的な学習にも力を入れています。しかし、キャリア教育を狭義の進路指導、進学指導に限定してきた傾向が否めず推進上の課題と考えています。

**Q3** 小・中学校におけるキャリア教育に関する教職員の研修状況は。

**A3** 法定研修である初任者研修は17年度から、教職経験者10年研修には本年度から位置づけられ、すべての教職員が受講。各学校の研究主任対象の校内研修推進講座や小・中学校キャリア教育指導者養成講座などこれまで以上に整備され受講しています。

**A2** 意識調査の実績は無いが18年度の学習定着度調査の回答の考察から児童生徒の進路意識の発達に応じたキャリア教育の充実を図るとともに、学校の学習と日常生活の関連を意識させる指導の工夫が必要と考えます。